

伊保内高校学校通信

伊高だより 12月号



明 朗 ・ 創 造 ・ 努 力

編集・発行／岩手県立伊保内高等学校
〒028-6502 岩手県九戸郡九戸村伊保内1-61-12
TEL(0195)42-3121(事務室) 42-3122(職員室)
<http://www2.iwate-ed.jp/ibn-h/>

ナインズミーティング

12月20日(本校視聴覚室)

コロナ禍で2年振りとなる本校でのナインズミーティングが開催されました。前半は今年度伊高むらおし会社の取組についての活動報告。後半は九戸村への生徒からの提言を基にした意見交換会。キーワードは「増やす」「イベント開催」「整備する」「入学者対応」でした。晴山裕康村長をはじめとした役場の職員の皆様と本校教育振興会の皆様からご助言をいただき、ありがとうございました。九戸村の将来を考える良い機会となりました。参加生徒の感想文を紹介します。

九戸をもっと活発にするために生徒からの多くの意見を村の議会の人に直接言えるという珍しい機会をもうけてもらって、自分たちの将来をよくできるのではないかなと思いました。実際、実現できるものは多くはないと思うけど言葉にしないとまず伝わらないので生徒自身が思っていることを言えて、理想とする九戸村に近づけそうで良い体験したなと思えました。みんなが村に来る、村に残るためになにをしたらいいかを聞けてたしかにそれあるといいなと思うことが多くありました。

人が少なくなり店も多くとじた今、逆にそれを活かせるチャンスなんだなと役場の方の説明で感じました。自分が直接かわかることは少ないと思うけど協力できたらいいなと思います。(1年・小枝 結珠姫)

村おし会社の発表を聞いて、私の発表と2・3年生の発表は全然違ったです。2・3年生はただ自分たち商品を紹介するだけでなく、一つの課題点について深く考えているところが違うと思いました、3年生はまとめとして2年間で振り返っているところが良いと思いました。

村に対しての意見を聞いて、働ける場所・産婦人科・遊べる場所をつくれれば若者が増え人口が増えるという意見が良いと思いました。確かに仕事場所が少ないと他の所に行くしかないと思うので検討してほしいと思いました。

今回のナインズミーティングを通じて、村の発展について役場やいろいろな方々と話し合うことで村の発展に少しでも貢献できると思いました。これからも続けてほしいと思いました。(1年・中野 結友)



村おし会社では、それぞれの班から色々な課題がでて、納得がいく結果にはならなかったかもしれないけど、将来に向けた一つの経験になったと思います。村を色々な人に伝えるのは大変だと思いました。

村に対しての提案では、「増やす」に関しては働く場所や店、若者が行きたい店、小さい子どもたちが遊べる場所、子育てのできる環境、街灯があげられました。他には、オブチキの宣伝や小中高の交流などもあり、皆一人ひとりが村に対して意見をもって、村を良くしようとする姿勢が良かったと思いました。高校の村おしでやっていけることはしていってみたいと思いました。自分が思っていた疑問も村の方々から直接聞けるという機会があつていいと思いました。村が更に良くなっていくように自分も何ができるかを考えていきたいと思いました。(1年・中村 凜)

今日は議会の方々で対面で議論ができる機会をいただきました。残念ながら私は、実際に議員の方々に意見や質問などを投げかけることはできませんでしたが、他の生徒の意見や提案を聞くことができました。まず、産婦人科を九戸村に入れるという提案はなるほどなと思いました。確かに九戸村に産婦人科があれば子どもを産みやすくなるので九戸村の人口が増えることにつながっているので良いと思いました。あまり、現実的でなくても大人の方々にこういった機会に自分の意見を述べることは大切だと思うので「SNSで九戸についてもっと発信する」という意見や「がいとうを接置する」などたくさんの意見がでて、良かったと思います。次回のナインズミーティングでは積極的に発言していきたいです。(2年・森越 仁)

今回のナインズミーティングでは、伊高村おし会社での成果報告をしたのですが、映像制作班、ゲーム班、商品開発班

の内容をあらためて聞いて来年の村おこし会社ではどのような活動を行うかを考えることが出来ました。今回の成果を参考に来年は自分達が村おこし会社をひっぱっていきたいと思います。

そして村への提案では、今の九戸村に必ず必要となってくるような提案が多く出ました。産婦人科の配置や、街灯の設置、新しいイベントの企画などは、村を活性化させるうえでとても大事な考えであると思う。これからの九戸村のために今できることを可能な限り実現できるように自分でも頑張っていきたいです。（2年・山下 千明）

今回のナインズミーティングでは、九戸村をより良くするための話し合いができました。九戸村には若者が少ないので、何か活動をすれば若者も少しは興味を持ち来てくれると思いました。九戸村は小さい村で、できることも限られてはいると思うけど、できる限りの事はしっかりやってほしいと思った。自分も九戸村にこうけんできるようになりたいです。

今回出された案がすぐに解決できるとは思わないが、なるべく多くの案にのれば良くできると思いました。自分も卒業後、九戸村を出る事が決まっていて、村を出る理由が仕事場の関係があるので仕事場を増やすなど、もっと考えれば九戸村にのこり、仕事ができると思いました。街灯の話も多くの方からでているので、街灯が1個でも増えることを期待しています。

（3年・亀梨 唯）

ナインズミーティングを通して、九戸村をより良くする話し合いをしっかりとできました。九戸村の改善点がたくさん見つかって、高校生の私たちに、今できることは何か深く考えることができました。意見交換では、“九戸村に産婦人科があれば子どもが増える”や“遊ぶ場所を増やす”などたくさんの意見が出ました。その中で“働く場所を増やす”という意見に共感しました。二戸や一戸に働く人が多いので、人が減っていくきっかけになると思いました。この意見に関して、村で動いてくれればいいなと思いました。2年前に街灯について意見を出したが、何も対応してくれなかったもので、今回こそは動いてほしいと思いました。私は卒業後、盛岡で一人暮らしをするので卒業までに少しでも九戸村に貢献できるようにがんばりたいです。将来、九戸村に帰ってきたとき、にぎやかな村になっていければいいなと思いました。（3年・小松 凜）

今回のナインズミーティングで、私たちが、村を明るくするために考えたアイデアを発表できたので良かった。産婦人科やバス、店の設置など、予算がとて大きく関わるものもあったので実現が難しいと思った。

私は、んだなすの活用方法を考え直すことや少子化の対策について書きました。検討してみます、との回答が多く、はっきりとした答えは、その場ではもらえませんでした。考えを伝えられて満足しました。私たちの意見がどのくらい反映できるか分かりませんが、村に来る人を増やすためには、村民が安心して暮らしをする必要があると思うので、実現してほしいです。また、私たち村民も、村おこしに協力していきたいと思いました。伊保内高校・九戸村がより活発になるよう、がんばりたいです。（3年・千葉 彩愛）

ナインズミーティングを通して、高校生の意見を多く伝えることができたと思います。それに対しての意見や質問も聞くことができました。（村側の）高校生の意見に対して、村の方々が実際に改善していることも知れて良かったです。また、違う学年の意見を聞いて、「自然を生かして星を見る会」や「地域の方と関わるボランティア」などいいと思ったのが多かったです。あとはこの意見が“実現”できたら凄いいいなと思いました。施設の充実に関しても、多くの意見がありましたが、施設（公園、店など）が増えることで人も九戸村に残ったり増えたりすると思うので検討してくれたらいいなと思います。九戸村の問題についても知ることができました。今回の場を通して、村の方々も、高校生も九戸村の現状や課題を知り、考えることができたと思います。私たちは、最後ではありますが、これからも九戸村について考えていくべきだと思いました。（3年・山下 櫻子）

賞状伝達・終業式

12月22日(本校視聴覚室)

(1) 第45回岩手県高等学校総合文化祭書道部門
第2種 漢字・仮名 入選 3年 山下 須瑞

(2) 第45回岩手県高等学校総合文化祭工芸部門
入選 3年 南館 千秋
3年 山本 優菜

(3) 第45回岩手県高等学校総合文化祭郷土芸能部門
優秀賞(第1席) 郷土芸能委員会

3年 小笠原 毅 佐々木 楽樹 下村 漣菜 觸澤 彩莉 山下 櫻子 山下 須瑞 山本 優菜
2年 秋元 海洲 澤向 梨乃 目黒 基輝 山下 千明 山本 志道 山本 龍之介
1年 秋元 みずき 中野 結友 野辺地 裕那 山本 和希

(4) 牛乳乳製品利用料理コンクール
優良賞 2年 桐川 優弥

(5) 岩手県アンサンブルコンテスト県北支部大会
銅賞 吹奏楽部

3年 畑中 結空 十文字 爽太
1年 野辺地 柊真 野辺地 裕那 山本 和希

